

# 1 パーソントリップ調査の概要

## パーソントリップ調査とは

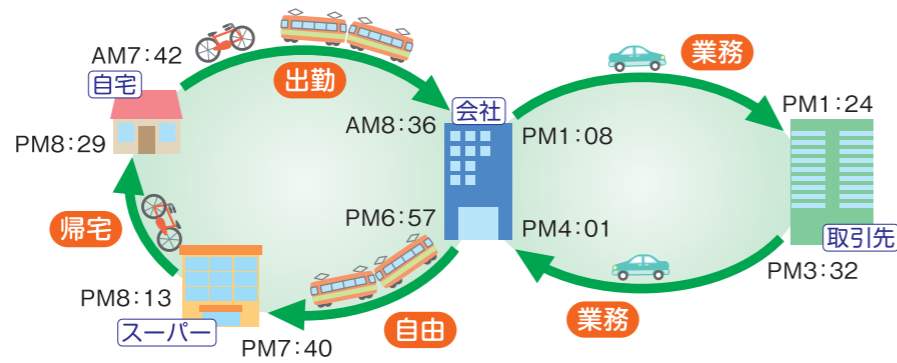
パーソントリップ調査(パーソン=人、トリップ=動き)とは、「どのような人」「いつ」「どこから」「どこまで」「どのような目的で」「どのような交通手段を利用して」動いたのかについて調査し、人の1日の動きのすべてをとらえるものです。

人の動き(地域別や交通手段別などの交通実態)を総合的に把握する唯一の調査であり、交通計画、道路計画、防災計画などの検討のための基礎資料として活用されています。

## 調査結果に関する留意事項

●この調査は、全数調査ではなく、近畿圏居住者から無作為に対象者を抽出したサンプル調査です。そのためこの資料で示す数値については、実際の観測値ではなく、個人属性等をもとに補正、拡大した推計値です。

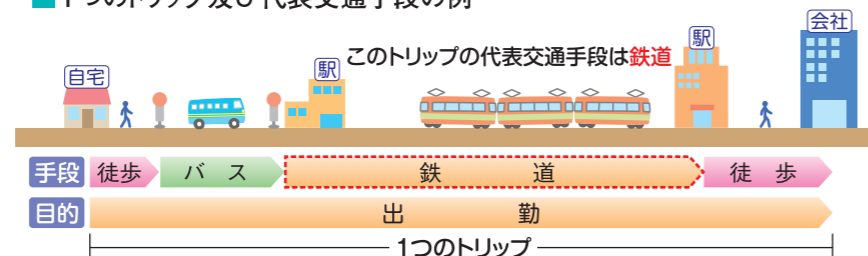
## 人の1日の動きの例



## 用語の説明

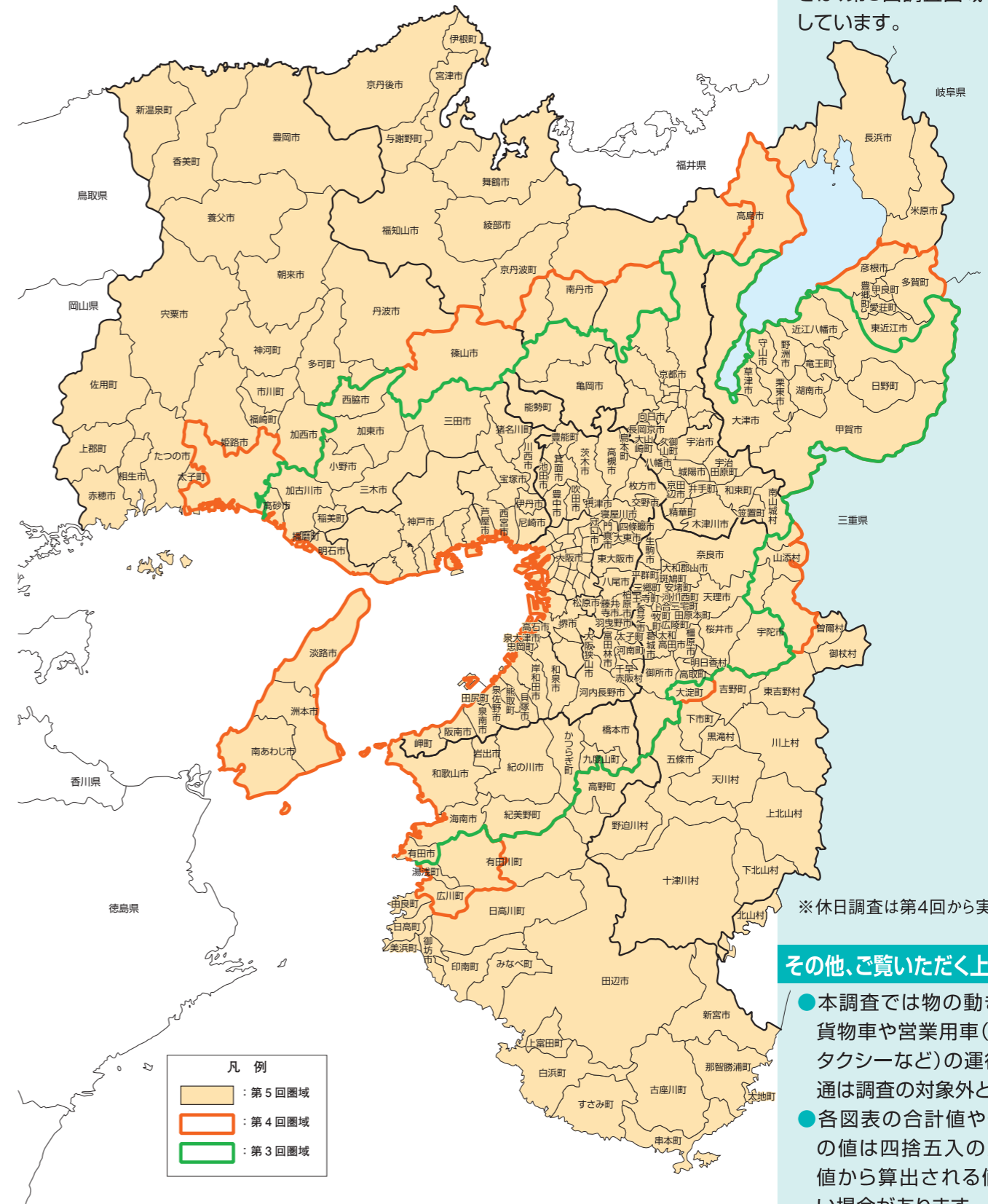
トリップ	人がある目的をもってある地点からある地点へ移動する単位で、移動の目的が変わるごとに1つのトリップと数えます。
トリップエンド	1人1人の動きを「トリップ」というのに対し、1つのトリップの出発側と到着側をそれぞれ「トリップエンド」といいます。
生成量	ある地域に住んでいる人が行う1日のすべてのトリップ数です。
生成原単位	ある地域に住んでいる人が行う1日1人あたりの平均トリップ数です。
発生集中量	ある地域内に出発地または到着地を持つ人の移動の合計で、「トリップエンド」を集計したものです。
トリップ目的	出勤・登校・自由・業務・帰宅に分けられます。自由は買い物、食事、レクリエーションなどの生活関連のトリップであり、業務は打合せ・会議、販売・配達、作業、農作業など仕事上のトリップです。
代表交通手段	移動の際に利用する交通手段には、鉄道、バス、自動車、自動二輪車・原付、自転車、徒歩、その他(飛行機や船など)があります。1つのトリップの中でいくつかの交通手段を用いている場合は、鉄道→バス→自動車→自動二輪車・原付→自転車→徒歩の順に、最も優先順位の高いものを代表交通手段(主な交通手段)としています。

## 1つのトリップ及び代表交通手段の例



## 第5回調査の特徴

- 調査地域の拡大
- 平日調査と休日調査の同時実施
- 郵便番号ゾーンを最小ゾーンに設定
- 移動困難者やモビリティ・マネジメントに関する項目を設定



## 調査圏域について

第5回近畿圏パーソントリップ調査では、近畿全域(2府4県)を調査対象圏域としています。なお、過年度調査結果と比較するときは、第3回調査圏域を対象に集計しています。

※休日調査は第4回から実施しています。

## その他、ご覧いただく上での注意事項

- 本調査では物の動きにかかわる貨物車や営業用車(営業貨物車、タクシーなど)の運行に関する交通は調査の対象外としています。
- 各図表の合計値や伸び、構成比の値は四捨五入のため、内訳数値から算出される値と一致しない場合があります。